

47 旧官費生元田肇他十九名学資金給付の件

〔明治八年五月二日〕

今般官費生規則廃セラレ貸費生規則ヲ置カレシハ全ク旧官費生
処分之為メ権リニ設ケラシモノニシテ其他新ニ貸費生ヲ置カル

至急御指令相成度候也

東京開成学校校長畠山義成代理

〃 学校長心得 濱尾 新

八年五月二日

田中文部大輔殿

〔朱書〕 〔同之趣無余儀事情ニ付特別之訳を以聞届候事〕

〔朱書〕 〔明治八年五月廿七日〕 印

飾磨県 梅谷左門男

予科第四級甲 梅谷順治 十七年九ヶ月

高知県士族 山下馬三郎男

〃 山下権太郎 十七年十一ヶ月

白川県士族 河野道哲弟

〃 河野鯨雄 十八年九ヶ月

高知県管下香美郡夜須村平民 末延立誠男

〃 末延佐代次 十四年

飾磨県士族

〃 四級乙 大野金三郎 十七年六ヶ月

静岡県士族

〃 石川九内 十七年七ヶ月

岡山県士族

〃 守屋物四郎 十六年十一ヶ月

石川県 石川泉

〃 上野照道 二十年二ヶ月

飾磨県士族 石川季遠男

、ノ旨意ニ之ナリ然ルニ旧官費生之外昨年来新ニ入学セシ自費
生徒中現ニ学費ヲ自弁シ能ハサルモノ往々有之是等之者ハ固ヨ
リ永ク自費ヲ以テ修業スベキ方法アルモノニ非ス其目的トスル
所ハ本校ニ入り暫ク勉学セハ必ス官費生トナランコトヲ期スルモ
ノニテ其間一時朋友或ハ他人ノ支給ヲ受ケ年フシテ今日迄在学
スルヲ得シ如キ貧困是レ窮マルノ徒ニ有之然ルニ今若シ之ニ学
費ヲ給助シ存学ノ方法ヲ与ヘサレハ勢ヒ己ヲ得ス退学ノ外殆ン
ト他策ナキニ至ルヤ必セリ実ニ慙ム可ク又惜ム可キノ至リナリ
且ツ現今専門学科ヲ講究セント欲シ奮然トシテ本校ニ入学スル
モノヲ見ルニ概ネ貧困ノ徒ナルヲ以テ其学資ヲ扶助スルノ方法
ナケレハ其卒業期年ノ久シキ仮令通学スルモノト雖モ多少ノ資
ヲ費サ、ルヲ得サルヲ以テ終ニ自カラ学資ヲ弁シ得サルニ至ル
ヨリ恐クハ中道ニシテ廢学スル者多ク到底成業ノ者ヲ得ル渺カ
ルベシ之ニ由テ此ヲ觀レハ方今専門学科ヲ拡充シ諸般ノ技術ヲ
盛大ナラシメント欲スルノ際ハ姑ラク貸費規則ノ缺ク可ラサル
論ヲ俟タス仍テ現今在学ノ自費生徒中成業ノ目的アリト雖モ必
至困究ニシテ学資ヲ自弁シ難キニ因リ勢ヒ勤学シ能ハサル者ハ
其情実ヲ精査シ新ニ貸費生トナシ候ハ、益専門学ヲ拡充スルノ
趣旨モ貫徹シ愈其学士ノ輩出スル又更ニ多カルベク存候且ツ旧
官費生被廢候ニ付而ハ其支給スル処ノ金額モ亦減少シ加フルニ
旧官費生ノ内更ニ自費ヲ以テ修業スルモノ有之ニ付而ハ別紙記
載之人名ハ前陳自費生中最モ窮迫イタシ居候ものゆヘ其貸与金
ハ本校補助金定額中ヨリ弁給シ当五月ヨリ旧官費生中更ニ貸費生ト
ナル者ノ内ヘ加ヘ恂シク同月ヨリ貸費生トナシ申度此段相伺候条

